

防災放送による情報伝達

～避難を促すための音声～

趣旨

南海トラフによる巨大災害が確実視される中で、防災に関しては様々な点からの取り組みがなされるようになってきています。災害発生時において、命を守るための行動を確実にとってもらうためには、防災放送も大きな役割を果たしています。その際、音声は明瞭に伝わるだけでなく、危機感を持って伝わることも重要です。なぜなら、人間は「正常性バイアス」という心の働きによって、避難が必要な場合にも避難しないということが多々あるからです。過去の大災害時にもそのために多くの命が失われています。

2016年度に日本音響学会北陸支部では初めて防災と音響の問題を取り上げた研究会「防災について科学的に考える ～音響学の視点から～」を実施しました。翌年の2017年度には「防災放送と避難行動」と題して2回目の研究会を行いました。本年度も、最近の研究成果を示し、多面的に防災を考えるための研究会を音声研究会との共催によって行います。防災における音声の役割について論じる契機となることを願っています。

日時

2019年1月26日(土)
13:30～17:30

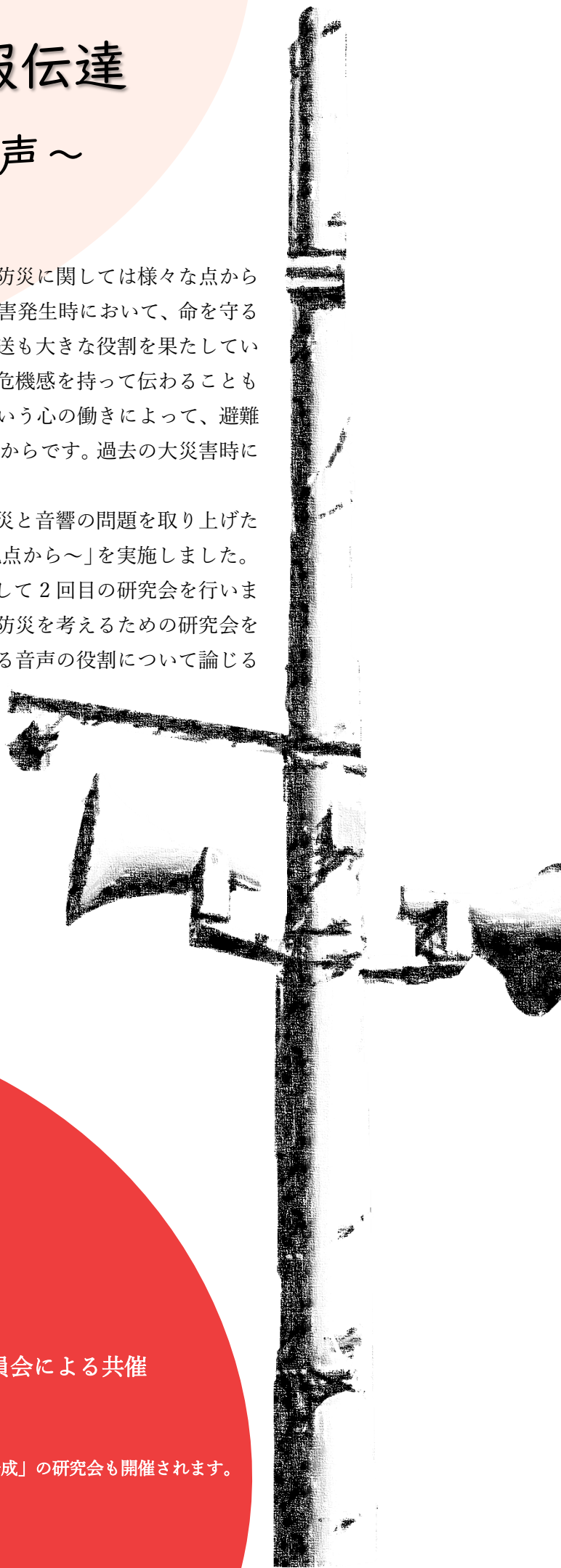
会場

ハルモニー金沢

920-0997 石川県金沢市堅町40

主催

日本音響学会 北陸支部および音声研究委員会による共催
お問い合わせはこちらまで→ asj-h@freeml.com



プログラム

[基調講演]

雑音残響環境での避難誘導音声呈示のための音声変形

○赤木正人・鶴木祐史・久保理恵子・小林まおり（北陸先端大）

[依頼講演]

単語・文章理解度試験を用いた様々な聴取環境における音声聴取能力測定手法の開発

○坂本修一（東北大）

[一般講演]

音声の緊迫感に影響する音響特徴の検討

○小林まおり・濱田康弘・赤木正人（北陸先端大）

[一般講演]

防災放送の訓練での教示語に関する検討 避難行動を誘起させるためのアナウンス

○土田義郎・高野佐代子（金沢工大）

[フェロー記念講演]

機械と人間と音のコミュニケーション

○伊藤彰則（東北大）

[トークセッション]

「防災における機械と人間のコミュニケーションについて」